

World-Class PC Migration Software

ファイナルパソコン

データ引越し Win10 特別版

データ+設定を引越し!

ユーザーズマニュアル

商標・著作権

『ファイナルパソコンデータ引越し』はAOSデータ株式会社の日本における商標です。

Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の社名、ブランド名及び製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

本ソフトウェア（本ソフトウェアに組み込まれたイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、音声、音楽、テキスト、アプレット、その他を含む）、付属のマニュアルなどの文書、および本ソフトウェアの複製物についての著作権は、AOSデータ株式会社またはその認定サプライヤーが有するもので本ソフトウェアは著作権法および国際条約の規定によって保護されています。本ソフトウェアのソースコードプログラムの著作権は、Laplank Software社が所有します。

『ファイナルパソコンデータ引越し』の日本語版開発・販売はAOSデータ株式会社です。

AOSデータ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル4F

ホームページ： <http://www.finaldata.jp/>

Eメール： hikkoshi@aos.com

目次

はじめに	3
本書の構成と読みかた	4
概要	5
引越しできるもの	5
主な機能	6
引越し方法の種類	7
注意事項	9
準備	13
必要なシステム	13
事前準備	15
インストール	22
アンインストール	25
実行	26
新しいパソコンへの引越し	26
引越し作業の流れ	26
古いパソコンでの作業	27
新しいパソコンでの作業	30
引越し後の確認	42
外付けHDDやUSBメモリ(外部媒体)を使った引越し	44
引越し作業の流れ	45
新しいパソコンでの作業(引越しトラック作成前)	46
古いパソコンでの作業	49
新しいパソコンでの作業(引越しトラック作成後)	53
中断した引越しを再開する	56
引越しを元に戻す	58
引越しレポートを表示する	60

応用 _____ 61

- セキュリティソフトの回避 61
 - Norton Internet Security 2014の場合 61
 - ウィルスバスタークラウドの場合 64

付録 _____ 68

- うまくいかないときは 68
- メールデータの移行について 73
- USBドライバのインストール 74
 - Windows XPの場合 74
 - Windows Vista/7の場合 75
 - Windows 8および10の場合 76
- 技術サポート情報 77
- 使用許諾契約書 79

はじめに

このたびは、「ファイナルパソコンデータ引越し Win10 特別版」(以下、「本ソフトウェア」)をご購入くださいまして、誠にありがとうございます。

本ソフトウェアは、現在ご使用中のパソコンのデータ、設定されている環境を引越し先のパソコンに移行するためのソフトウェアです。

本ソフトウェアは、使用許諾の合意書に基づいて提供されるもので、合意書の条項に従う場合にのみ使用することができます。本ソフトウェアには、パソコン ソフトウェア、およびそれに関連した媒体、ならびに印刷物(マニュアルなどの文書)、「オンライン」または電子文書が含まれることもあります。

本書に記載された内容は情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。

本書の構成と読みかた

本書は、次のように構成されています。

▶ 概要

本ソフトウェアの機能の概略を説明します。
どなたも、最初にご一読ください。

▶ 準備

本ソフトウェアを使用するために必要な環境や、ご使用にあたっての制限事項、および本ソフトウェアのインストール／アンインストール方法などが記載されています。
本ソフトウェアをご使用になる前に必ずお読みください。

▶ 実行

引越し処理の流れと、本ソフトウェアの操作方法が記載されています。
操作方は、引越し方法(接続)ごとに記載されています。
使用する引越し方法に応じて、必要なページをお読みください。

▶ 応用

本ソフトウェアの応用的な使いかたを紹介します。
必要に応じてお読みください。
なお、操作などの詳細はヘルプをご覧ください。

▶ 付録

各種の資料が記載されています。
必要に応じてお読みください。

概 要

本ソフトウェアは、現在ご使用中のパソコン(以下、「古いパソコン」)の環境を引越し先パソコン(以下、「新しいパソコン」)で再現するために、データ、設定環境などを新しいパソコンにコピーします。

引越しできるもの



ドキュメントなどのデータ

マイドキュメントやマイピクチャ、ドキュメントフォルダーに含まれるファイルを移行します。

新しいパソコンに既に存在しているファイルは上書きしないので安心です。



メールデータ

メッセージデータ、メールアカウント、およびアドレス帳などを移行します。(Outlook 2002, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016 など)



ブラウザ

Internet Explorerのお気に入り、スタートページなどを移行します。



Windowsユーザーアカウント

複数ユーザー環境もそのまま引越すことができます。



Cドライブ以外のファイル



各種のデータ、アプリが自動保存したデータなど

はがきソフトの住所録、アルバムソフトの画像データ、ジュークボックスソフトの音楽データなど

主な機能

- 簡単な接続で引越せます。
古いパソコンと新しいパソコンを専用USBケーブル、LANクロスケーブル、またはローカルエリアネットワーク(LAN)で接続する、シンプルな接続です。
- 古いパソコンと新しいパソコンが同時になくても引越せます。
外付けハードディスクやUSBメモリなどの外部メディアを使うと、古いパソコンと新しいパソコンが同時になくても引越せます。
- 複数ユーザーの共有パソコンは、ユーザーごとに引越せます。
選択したユーザーのデータだけを引越せます。選択していないユーザーのデータは引越されません。
- 引越しの取り消し、やり直しができます。
引越し後の新しいパソコンの動作に問題があれば、引越し前の状態に戻せます。
戻した後でデータ選択を見直して、引越しをやり直すことも可能です。
- 引越し元パソコンのデータを消去しません。
現在お使いの引越し元のパソコンのデータは、引越しが完了してもそのまま残ります。
- OneDriveへのデータの引越し
マイドキュメントなどのデータは、OneDriveへ直接引越しできます。
- レジューム機能
何らかの原因で引越しが中断されても、そこから引越しを再開できます。

引越し方法の種類

引越す状況や、新旧のパソコンの状態によって、いろいろな方法で引越すことができます。

●新しいパソコンを買ったとき(通常の引越し)

古いパソコンと新しいパソコンを専用USBケーブルまたはLANクロスケーブルで直接接続して引越します。また、「ご家庭もしくはオフィス内のネットワーク環境」でLAN環境を利用したネットワーク経由での引越しもできます。

引越しのデータは、古いパソコンから新しいパソコンへ接続しているケーブルで転送されます。



概要

- 引越しする2台のパソコンが離れた場所にあるとき(外部媒体を使った引越し)
古いパソコンに外部媒体(外付けハードディスクなど)を接続し、引越しのデータを保存します。次に、その外部媒体を新しいパソコンに接続して、引越しのデータを読み込みます。



注意事項

本項記載の注意事項をよくお読みください。

事前に確認および注意が必要な事項です。準備していただくことにより、より確実に引越すことができます。

ファイナルパソコンデータ引越し全般の注意事項

- (1)古いパソコンと新しいパソコンの両方に、動作対象のOSがセットアップされている必要があります。
- (2)古いパソコンと新しいパソコンの両方に本ソフトウェアをインストールして実行する必要があります。
- (3)本ソフトウェアの実行には、古いパソコンと新しいパソコンの両方でローカル管理者権限(Administrators)を持つユーザーでログオンする必要があります。
- (4)システムドライブやアプリケーションのインストール先がCドライブ以外の場合には、引越しは正しく行えません。
- (5)古いパソコンから新しいパソコンに環境を移行するために、本ソフトウェアでは次の4つの移行方法を選択できます。
なお、各々の方法によって、必要とされる機器が異なります。

専用USBケーブル経由	専用のLaplink® USBケーブル(以降、「専用USBケーブル」)(市販の汎用USBケーブルはご利用いただけません)
LANクロスケーブル経由	UDPで通信できるLANクロスケーブル
外付けHDDやUSBメモリ経由	新旧の両方のパソコンに接続できる外付けハードディスクやリムーバブルディスクなど
ネットワーク経由	TCP/IPで通信できるLANカードおよびネットワークケーブル

- (6)新しいパソコンのWindowsは、古いパソコンと同じか新しいものでなくてはなりません。新しいWindowsから古いWindowsへは引越せません。
また、古いパソコンのWindowsが64ビット版の場合、新しいパソコンのWindowsも64ビット版でなくてはなりません。
- (7)本ソフトウェアのセットアップが完了するまで、専用USBケーブルは接続しないでください。ドライバーのインストールが正しく行えないことがあります。

移行する項目についての注意事項

- (1)移行できるWindows ユーザーアカウントの種類は、コンピューターの管理者 (Administrators) か、制限付きアカウント (Users) のみとなります。
- (2)古いパソコンの設定のうち、ハードウェアに依存した設定 (たとえば、画面解像度など) やネットワークの設定 (IP 設定など) など、移行しない設定もあります。
- (3)音楽ファイルのようなデジタル著作権付きのファイルやは、転送先の新しいパソコン上で正常に開けない場合があります。この場合、新しいパソコン上でアクティベーションしなおしてください。詳しくは、ファイルの提供元へご確認ください。
- (4)新しいパソコンにすでにインストールされているアプリケーションの設定などは移行されない場合があります。

メールの移行についての注意事項

- (1)Windows ストアの「メール」アプリに、古いパソコンのOutlook Express、Windows メール、およびWindows Liveメールのメールデータを移行することはできません。
- (2)外付けHDDやUSBメモリを使用して引越しを行う際に分析結果ファイルを使用しない場合、Outlook プロファイルがリダイレクトされないため、Outlook

2010 以前からOutlook 2013/2016へメールの移行ができないことがあります。

- (3) Outlook の仕訳ルールは、移行先の新しいパソコンに移行できない場合があります。
- (4) 古いパソコンの状態によっては、メールデータをそのまま使用することができないことがあります。その場合は、新しいパソコンの各メールソフトでインポート作業を行ってください。

引越し実行時の注意事項

- (1) 新しいパソコンで、ウィルス対策ソフトや、デスクトップ検索ソフト、バックアップソフトなど、ファイルをロックするソフトウェアが動作していると、正常に引越しを行うことができません。そのようなソフトウェアはあらかじめ、両方のパソコンで終了またはアンインストールしてから引越しを行ってください。
- (2) 移行中はインターネット接続を解除してください。WindowsUpdateなどのアップデータにより、Windows が強制再起動される恐れがあります。

引越しの設定を変更する場合の注意事項

- (1) マイドキュメントをCドライブ以外に(Dドライブなど)変更している場合、そのドライブも移行対象にしないとマイドキュメントは移行されません。特に外付けHDDやUSBメモリで引越しする場合はご注意ください。
- (2) 移行するユーザー選択画面でユーザータイプに[指定なし]を設定した場合、そのユーザーは何も権限がない状態になります。新しいパソコンのOSがアクティブディレクトリー (ドメイン環境) に参加できるOSでない場合、そのユーザーでログオンできなくなります。
- (3) 外付けHDDやUSBメモリで引越しを行う際に分析結果ファイルを使用しない

場合、新しいパソコンの情報が取得できないため、新しいパソコンにすでにインストールされているアプリケーションなどが移行し、予期せぬエラーが表示されることがあります。本ソフトウェアではデータ保護のため分析結果ファイルを使用しないような既定の設定がされていますが、別の新しいパソコンへ移行する場合は分析結果ファイルを使用することを推奨します。

- (4)古いパソコンがWindows XPの場合、OneDriveへマイピクチャ、マイビデオ、マイミュージックをそれぞれ移行すると、それらのファイルは、OneDriveの「ドキュメント」フォルダーのサブフォルダーとして移行されます。

その他、本ソフトウェアのご使用前に実施していただいたほうが望ましい事前準備や、引越し前の注意点、引越し後に動作しないアプリケーションなどの最新情報は、ファイナルパソコン引越しFAQ (<http://faq.aos.com/pcmover2/03/>) に記載されています。あわせてご覧ください。

準備

必要なシステム

両方のパソコンが次の要件を満たしている必要があります。

パソコンおよびOS	<ul style="list-style-type: none">● PC/AT 互換機● Intel Pentium 700MHz以上または互換のプロセッサを搭載し、次のいずれかのOSが動作すること。● 日本語版Windows XP (SP3のみ)、Windows Vista、Windows7、Windows8/8.1、およびWindows 10 (Windows XPを除き、64bit版対応)<ul style="list-style-type: none">※ Windows 10のInsider Previewビルドはサポート外です。※ Windows XP、VistaについてはOSに起因する不具合が発生した場合は対応できません。※ Embeddedエディションでは、OSを構成するコンポーネントによってはサポート外となることがあります。
メモリ	<ul style="list-style-type: none">● 128MB以上、かつ上記OSが正常に動作する容量のRAM
ハードディスク	<ul style="list-style-type: none">● 200MB以上のディスク空き容量(プログラムファイル用)● 新しいパソコンには、古いパソコンからアプリケーション、ファイルや設定を移行するために、ハードディスクにより多くの空き容量が必要です。● 下記Microsoft Visual C++ Redistributableが未インストールの場合、追加で100MB以上の空き容量が必要になります。
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none">● 16bitカラー XGA解像度以上 ただし、ディスプレイ設定でテキストやその他の項目の大きさを変更している場合は、これ以上の解像度が必要になります。
光学ドライブ	<ul style="list-style-type: none">● CD-ROMまたはDVD-ROMドライブ (パッケージ版をご購入の場合のみ)
その他	<ul style="list-style-type: none">● Microsoft Visual C++ Redistributable 2012 (本ソフトウェアに同梱)



- 新しいパソコンのOSは、古いパソコンのOSと同じか、または新しいバージョンである必要があります。
- 古いパソコンのOSが64ビット版の場合、新しいパソコンのOSも64ビット版である必要があります。OSが32ビット版のパソコンへは引越してできません。
- 古いパソコンと新しいパソコンのWindowsが同じバージョンの場合、新しいパソコンのWindowsのサービスパックは、古いパソコンと同じか、より新しいものでなくてはなりません。
- 新しいパソコンのOSは、マイクロソフトのアップデート (<http://update.microsoft.com>) にて最新の「優先度の高い更新プログラム」を適用してください。
- 新しいパソコンと新しいパソコンの両方でローカル管理者権限 (Administrators)が必要です。

事前準備

「ファイナルパソコンデータ引越し」を使用する前に、古いパソコンと新しいパソコンの両方で下記の事前準備を行ってください。この事前準備を行うことで、より確実に移行が成功するようになります。

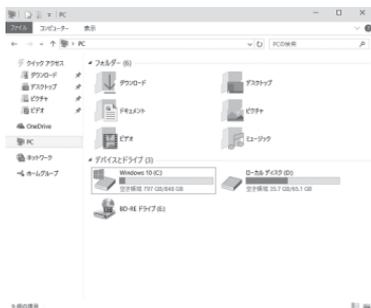
なお、新しいパソコンが新品で未使用の場合は、Step1 および2は不要です。

Step 1 スキャンディスクを実行する

古いパソコンから移行するすべてのドライブでスキャンディスクを実行して、ディスクのエラーをチェックし修正します。

スキャンディスクは、次の手順で実行できます。

①コンピューター(エクスプローラー)を開きます。



Windows XPでは[マイコンピュータ]をダブルクリック、Windows Vista/7ではスタートメニューの[コンピューター]をクリック、Windows 8/10ではWinキーを押しながらEキーを押します。

Step 2 ウィルスやスパイウェアをチェックする

古いパソコンのウィルス感染やスパイウェアの侵入をチェックします。

検出されていないウィルスやスパイウェアは、移行時に問題を起こしたり、貴重なデータの損失を招く可能性があります。

新しいパソコンにウィルスが感染したり、スパイウェアが侵入したりしないために、現在の最新のセキュリティソフトウェア・ウィルス対策ソフトウェアやスパイウェア対策ソフトウェアで、移行するすべてのドライブをスキャンします。

また、ウィルスチェックなどが完了したら、セキュリティソフトそのものを無効、停止、または終了させておいてください。

なお、セキュリティソフトウェアなどの操作方法については、各ソフトウェアのメーカーにお尋ねください。



Step 3 ファイアウォールをオフにする

ファイアウォールはセキュリティ上重要な機能ですが、引越し作業に影響が発生する可能性があります。このため、一時的にファイアウォールを無効にします。

Step 4 ハードディスクの容量を確認する

新しいパソコンのハードディスクには、古いパソコンのハードディスクよりも多くの空き容量が必要です。

Step 5 Windows OSのバージョンを確認する

新しいパソコンのWindows OSは、古いパソコンのOSと同じか新しいバージョンである必要があります。また、古いパソコンのOSが64ビット版の場合、新しいパソコンのOSも64ビット版である必要があります。OSが32ビット版のパソコンへは引越しできません。



Step 6 スクリーンセーバーや省電力設定をオフにする

スクリーンセーバー、省電力モード、休止/スリープモードへの移行など、電源管理オプションはすべて“なし”に設定をしてください。また、ノートパソコンの場合は必ずACアダプターを接続してください。

なお、電源設定の変更方法については、パソコンのメーカーにお尋ねください。

Step 7 スケジュール/タスク/プログラムを無効にする

Windowsのタスクスケジューラを使用していると、他のタスクが予期しないタイミングで自動的に実行され、引越しを妨げてしまう場合があります。操作方法については、パソコンのメーカーやプログラム開発元などにお問い合わせください。



Step 8 すべてのアプリケーション (特にセキュリティ対策ソフト)を終了する

システムトレイで実行中のアプリケーションを含むすべてのアプリケーションを終了します。セキュリティ対策ソフト、デスクトップ検索ソフト、バックアップソフトも終了またはアンインストールしてください。ファイアウォールを設定している場合は解除してください。

システムトレイで実行中のプログラムは、多くの場合、アプリケーションのアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「終了」を選択すると終了できます。この方法で終了できない場合は、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策ソフト、デスクトップ検索ソフト、バックアップソフトは下記の手順で終了してください。

代表的なプログラムの終了方法を下記に記載します。

【セキュリティ対策ソフト】

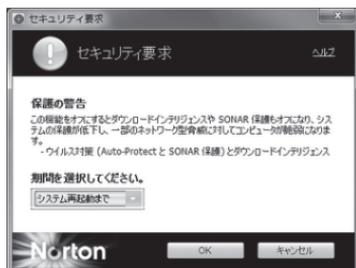
● Norton Internet Security

Norton Internet Securityでは、Auto-Protectおよびスマートファイアウォールを無効にします。

システムトレイの  アイコンを右クリックして表示されたメニューから、それぞれを無効にしてください。



無効にする場合には、次のメッセージが表示されます。ドロップダウンリストで「システム再起動まで」を選択して [OK] をクリックします。



● TrendMicro ウィルスバスター クラウド

TrendMicro ウィルスバスター クラウドでは、システムトレイの  アイコンを右クリックして「終了」をクリックします。



【デスクトップ検索ソフト】

● Google Desktop

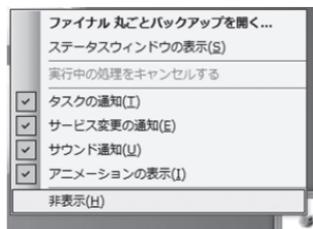
Google Desktopでは、システムトレイの  アイコンを右クリックして「終了」をクリックします。



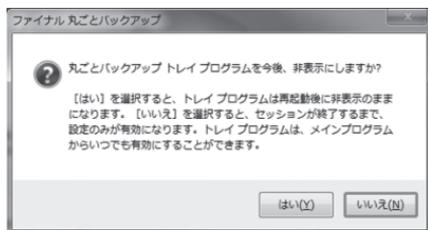
【バックアップソフト】

● ファイナル丸ごとバックアップ

ファイナル丸ごとバックアップの場合、システムトレイの  アイコンを右クリックして「非表示」をクリックします。



次のメッセージが表示されましたら、はい をクリックします。



インストール

本プログラムは、次の手順でインストールします。

本ソフトウェアのインストールは、古いおよび新しいパソコンの両方にインストールします。

1 CD-ROMドライブに、「ファイナルパソコン引越し」のCD-ROMを挿入します。ダウンロード版をお使いの場合は、保存先フォルダーのsetup.exeをダブルクリックします。



- CD-ROMドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合は、弊社Webサイトからインストールプログラムをダウンロードしてください。
http://www.finaldata.jp/download/pcmover_updatewin10_L.html

2 [Install]をクリックします。

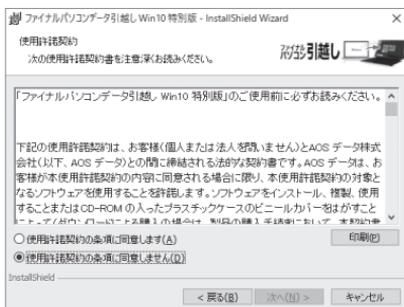


- Microsoft Visual C++ 2012 再頒布可能パッケージのインストールは必須です。インストールに失敗する場合は、よくある質問と回答集 (FAQ) のWebサイト (<http://faq.aos.com/pcmover2/>) をご覧ください。

3 [次へ]をクリックします。

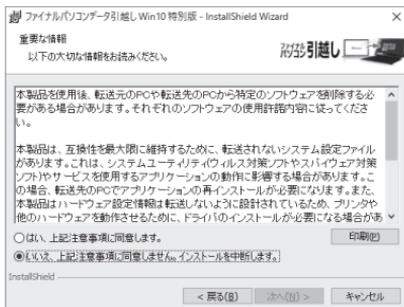


4 使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」のラジオボタンをクリックし、「次へ」をクリックします。



- 表示されている使用許諾契約に同意していただけない場合は、本ソフトウェアはご使用いただけません。[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。

5 重要な情報をお読みのうえ、「はい、上記注意事項に同意します」のラジオボタンをクリックし、「次へ」をクリックします。



- 表示されている重要な情報の内容に同意していただけない場合は、本ソフトウェアはご使用いただけません。[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。

6 ユーザー情報を入力し、[次へ]をクリックします。



7 以降、画面に表示される指示に従って操作してください。

インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

8 [完了]をクリックします。



- [完了]をクリックすると、インストーラが終了し、本ソフトウェアが起動されます。本ソフトウェアを自動的に起動したくないときは、「ファイナルパソコン引越しを起動する」のチェックマークをはずしておいてください。
- 専用USBケーブルを使ってデータを移行する場合は、USBドライバーのインストール(74ページ)を本ソフトウェアの起動前に行ってください。

アンインストール

本ソフトウェアが必要なくなった場合など、アンインストールしたい場合は、次の手順で実行します。



- アンインストールを行っても、引越しの取り消しは行われません。引越しの取り消しを行うには58ページをご覧ください。

1 コントロールパネルを開きます。

コントロールパネルは、Windows XP/Vista/7は、[スタート]メニューから開きます。

Windows 8の場合は、デスクトップを開き、[チャーム] > [設定] から開きます。

Windows 8.1/10の場合は、画面左下のWindows アイコンを右クリックして、[コントロールパネル]をクリックします。

2 「プログラムのアンインストール」(Windows XPの場合は「プログラムの追加と削除」)をクリックします。

3 「ファイナルパソコンデータ引越し Win10 特別版」を選択します。

4 [削除]または[アンインストール]をクリックします。

実行

新しいパソコンへの引越し

古いパソコン(引越し元パソコン)から新しいパソコン(引越し先パソコン)に引越します。専用USBケーブルまたはLANクロスケーブルで2台のパソコン同士を直接接続するか、またはご家庭やオフィス内のネットワーク環境でLAN環境を利用したネットワーク経由での引越しを行います。

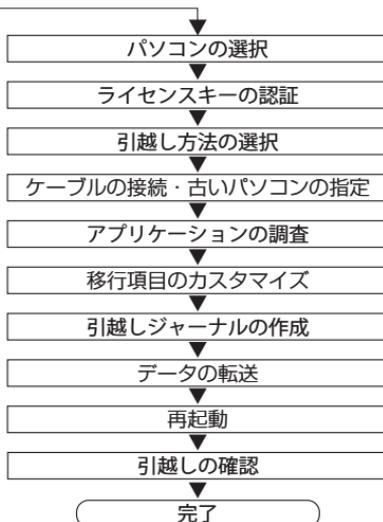
引越し作業の流れ

引越し作業は、次の流れで行います。

古いパソコン (引越し元)



新しいパソコン (引越し先)



古いパソコンでの作業

まず、古いパソコンで作業を行います。

- 1 古いパソコンで本ソフトウェアを起動します。
- 2 [新しいパソコンへの引越し]を選択し、[次へ]をクリックします。



- Windows セキュリティの警告メッセージが表示されたら、[ブロックを解除する]をクリックしてください。

▶ パソコンの選択

- 3 「古いパソコン(移行元)」を選択し、[次へ]をクリックします。



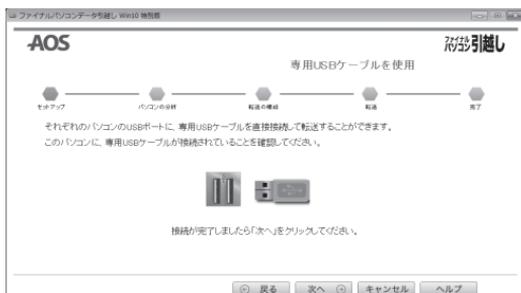
▶古いパソコンの準備

4 引越し方法を選択し、[次へ]をクリックします。



- 専用USBケーブルを使ってデータを移行する場合は、USBドライバーのインストール(74ページ)を最初に行ってください。

5 選択した移行方法に対応したケーブル(専用USBケーブル、LANクロスケーブル、またはネットワーク)で2台のパソコンを接続し、[次へ]をクリックします。



《画面は専用USBケーブルの場合》



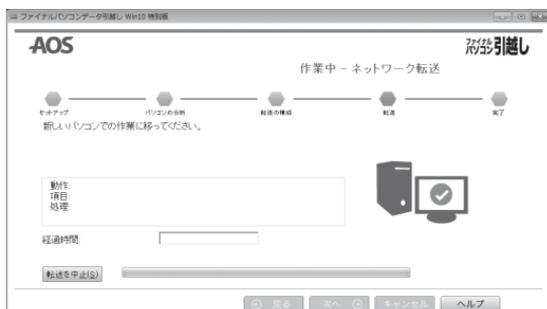
- ケーブルを接続しても、画面のアニメーションは停止しません。接続したらそのまま[次へ]をクリックします。

古いパソコンにインストールされているアプリケーションの調査が開始されます。しばらくお待ちください。

この処理には数分以上かかることがあります。



調査が終わると、古いパソコンが待機状態になります。新しいパソコンでの作業に移ります。



新しいパソコンでの作業

古いパソコンでの作業が終わったら、新しいパソコンでの作業を始めます。

- 1 新しいパソコンで本ソフトウェアを起動します。
- 2 [新しいパソコンへの引越し]を選択し、[次へ]をクリックします。



- Windows セキュリティの警告メッセージが表示されたら、[ブロックを解除する]をクリックしてください。

▶ パソコンの選択

- 3 [新しいパソコン(移行先)]を選択し、[次へ]をクリックします。



4 お名前、メールアドレスとライセンスキーを入力し、[次へ] をクリックします。



- パッケージ版をご購入の場合、ライセンスキーはCDケースの内外いずれかにある、CDケースサイズのライセンスシートに記載されています。また、ダウンロード版をご購入の場合、ライセンスキーはダウンロード時にお送りしたメールに記載されています。
- ライセンスキーは半角英数字で入力してください。

5 引越し方法を選択し、[次へ] をクリックします。



- 必ず古いパソコンで指定した方法と同じ方法を選択してください。

6 選択した移行方法に対応したケーブル(専用USBケーブルまたはLANクロスケーブル)で2台のパソコンが接続されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



《画面は専用USBケーブルの場合》



- ケーブルを接続しても、画面のアニメーションは停止しません。接続したらそのまま[次へ]をクリックします。

7 LANクロスケーブル、またはネットワーク・WiFi環境で接続した場合、「コンピューター名」欄に古いパソコンのコンピューター名が表示されたら[次へ]をクリックします。



• 60秒以上待っても古いパソコンのコンピューター名が表示されない場合は、[参照] をクリックし、表示される [ネットワーク一覧] ダイアログで古いパソコンを選択してください。

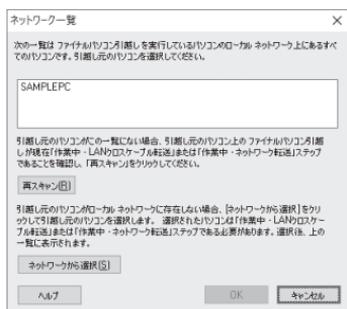
古いパソコンが表示されない場合は、[再スキャン] をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、[ネットワークの選択] をクリックし、表示される [パソコンの参照] ダイアログで新しいパソコンを選択してください。

また以下の点を確認してください。

- 両方のパソコンで実行されている本ソフトウェアを終了し、再度LANケーブルの接続を確認してから、もう一度手順をやり直してください。
- セキュリティソフト対策ソフトがインストールされている場合は、セキュリティソフトの回避(61ページ)に従い、例外設定行ってください。
- ファイアウォールが有効な場合は、無効にしてください。
- IPアドレスを固定するように設定している場合、IPアドレスの固定を解除してください。

うまくいかない場合は(68ページ)もご参照ください。



古いパソコンから分析結果の読み込みが開始されます。



続いて、アプリケーションの検索が開始されます。しばらくお待ちください。



- 8 新しいパソコンで OneDrive が使用可能な状態になっている場合、古いパソコンのマイドキュメントなどのファイルを直接 OneDrive へ移行する項目にチェックマークを付け、[次へ]をクリックします。



既定ではオフになっていますので、必要に応じてチェックを入れてください。チェックを入れなかった項目は、既定の場所に移行されます。

9 移行項目のカスタマイズ(変更)を行い、[次へ]をクリックします。



通常、設定を変更する必要はございませんが、「!」印のある項目については、ボタンをクリックして設定内容をご確認ください。



- 設定の変更については、引越し内容の詳細を設定する (37 ページ) を参照してください。



- マイ コンピューターを開いた際に「Recovery」または「Restore」といった表示のドライブがある場合は、【移行するドライブの選択】をクリックして引越し対象から除外してください。「Recovery」または「Restore」のようなドライブを引越ししても、引越し先の環境ではご利用いただけません。

引越しジャーナルが作成されます。しばらくお待ちください。



10 表示されている引越し内容(要約)を確認し、[次へ]をクリックします。



引越しのデータが新しいパソコンに転送されます。この作業は数十分から数時間かかることもあります。



11 引越しデータファイルの転送が終わったら、[完了]をクリックします。

新しいパソコンが再起動されます。

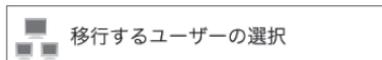


12 古いパソコンでも[完了]をクリックして本ソフトウェアを終了します。 古いパソコンは再起動する必要はありません。



▶ 引越し内容の詳細を設定する

移行項目のカスタマイズ画面では、移行する内容を選択できます。



新しいパソコンに移行する Windows ユーザーアカウントを設定します。

移行するユーザーを設定し、[完了]をクリックします。

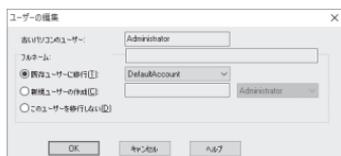


既定では、本ソフトウェアを実行しているユーザー同士が関連付けられており、古いパソコンの現在実行中のユーザーのファイルや設定が、新しいパソコンで実行しているユーザーへ移行されます。

古いパソコンのその他のユーザーは、新しいパソコンで新規ユーザーとして作成されます。



- 古いパソコンのユーザーと新しいパソコンのユーザーへの割り当てを変更する場合は、[ユーザーの編集]をクリックし、ダイアログで割り当てを設定して[OK]をクリックしてください。



既存ユーザーに移行: 新しいパソコンに既に存在しているユーザーへ現在のユーザーのデータを移行します。

新規ユーザーの作成: 新しいパソコンに新規のユーザーアカウントを作成し、そこに現在のユーザーのデータを移行します。新規ユーザーのアクセス権限も指定できます。

このユーザーを移行しない: 選択しているユーザーのデータを移行しません。

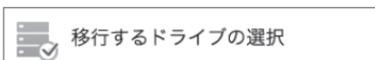


- Microsoft アカウントと関連付けられているユーザーの名前を変更するように設定することはできません。これは、Microsoft アカウントが既存のユーザーアカウントと関連付ける以外の方法でユーザー名が変更されると、互換性が保たなくなる可能性があるためです。これらのユーザーは、名前を変更せずに移行するか、既存のユーザーに移行を行ってください。



- 外部媒体を利用した引越しで分析結果ファイルを使用しない場合、移行するユーザーの設定画面の操作方法が異なります。引越しトラック ファイルに保存するユーザーを選択します。既定ではすべてのユーザーが引越し対象に含まれています。引越しトラック ファイルに含めないユーザーは、そのユーザーを選択して[除外する]をクリックしてください。

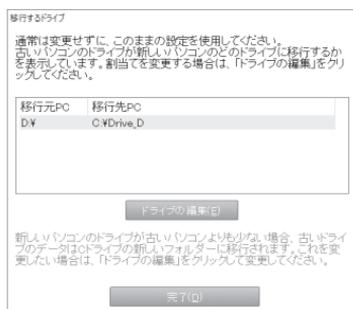




移行するドライブの選択

新しいパソコンに移行するドライブを選択します。

移行するドライブを選択し、[完了]をクリックします。



新しいパソコンに同じドライブ名がある場合は、古いパソコンのドライブ名と同じ場所が自動的に設定されています。また、同じドライブ名がない場合は、新しい場所として「C:\Drive_X」(Xには古いパソコンの移行対象ドライブの文字)が自動的に設定されます。



- 古いパソコンのドライブの新しいパソコンでのドライブへの割り当てを変更する場合は、[ドライブの編集]をクリックし、ダイアログで移行先フォルダーのパスを指定して[OK]をクリックしてください。



- Cドライブの設定は変更できません。



- 外部媒体を利用した引越しで分析結果ファイルを使用しない場合、移行するドライブの設定画面の操作方法が異なります。

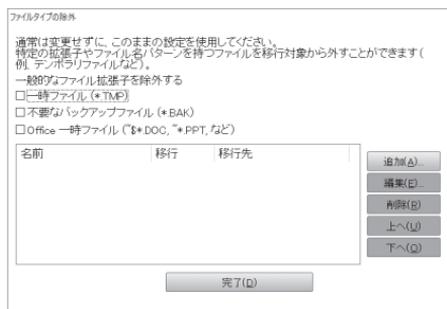
引越しトラック ファイルに保存するドライブを選択します。既定ではすべてのドライブが引越し対象に含まれています。引越しトラック ファイルに含めないドライブは、そのドライブを選択して[除外]をクリックしてください



除外するファイルタイプの指定

移行しないファイルタイプ(拡張子)を設定します。

除外するファイルタイプを指定し、[完了]をクリックします。



ワイルドカード文字を指定し、すべてのフォルダーで一一致するファイルを移行しないようにすることもできます。

任意の拡張子やワイルドカードを指定するには、[追加]をクリックして、表示されたダイアログで指定して[OK]をクリックします。



- このダイアログでは、特定のワイルドカードに該当するファイルを別の名前にリダイレクトするように設定することが可能です。リダイレクトの詳細については、ヘルプをご覧ください。



- 除外したファイルタイプを使用するアプリケーションがあった場合、そのアプリケーションの動作に支障をきたす場合があります。注意して設定してください。



移行しないフォルダの選択

移行しないフォルダーやドライブを設定します。

移行しないフォルダーのチェックマークを外し、[完了]をクリックします。



チェックが外された項目は、新しいパソコンに移行されなくなります。



- 古いパソコンのフォルダーを、新しいパソコンの別のフォルダーに移行するように変更することもできます。
変更した後で元に戻す場合は、[既定の場所] ボタンをクリックします。
なお、ユーザーアカウントのフォルダーをまたいで設定することはできません。

引越し後の確認

引越し作業が終わったら、新しいパソコンでの動作状態を確認してください。

(1) Windows のフォルダーの名称および場所

Windows XP以前とWindows Vista以降では、フォルダーの構成が異なります。たとえば、Windows XPからWindows 10へ引越す場合、Windows XPの「マイドキュメント」の場所は、Windows 10では「Documents」または「ドキュメント」となります。

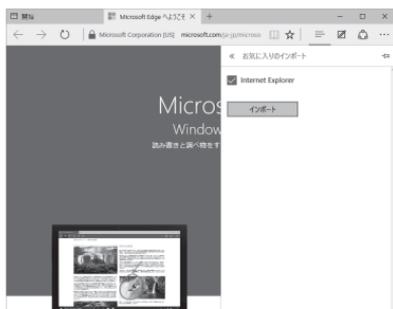
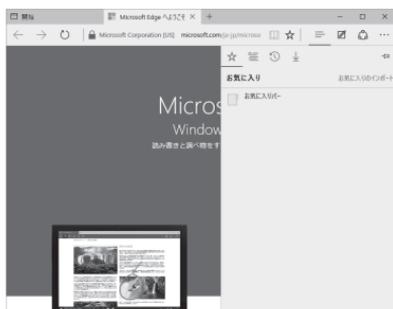
(2) 再アクティベーション

著作権保護されたファイル (iTunes で購入した楽曲など) は、引越し後に再アクティベーションを求められる場合があります。その場合には、新しいパソコンで、再度アクティベーションを行ってください。

(3) Microsoft Edge へお気に入りの移行

古いパソコンのInternet ExplorerからWindows 10に搭載されているMicrosoft Edgeにインターネットのお気に入りを移行するには、インポート作業が必要です。

引越し後にMicrosoft Edgeを開き、メニューから「お気に入りのインポートを」をクリックしてインポートを行ってください。



外付けHDDやUSBメモリ(外部媒体)を使った引越し

古いパソコンと新しいパソコンの両方が同時に手元にない場合は、外部媒体を使って引越すことができます。古いパソコンで「引越しトラック」と呼ばれる、引越しするデータをひとまとめにしたファイルを作成し、新しいパソコンで読み込み(荷降ろし)します。

外部媒体を利用した移行には、2種類の方法があります。

●分析結果ファイルを使用する

分析結果ファイルを使用すると、古いパソコンが新しいパソコンの状況を認識できるため、適切なファイルや設定を自動的に選出できると同時に引越しにかかる時間を短縮できます。しかし、**次のような引越しを行う場合は絶対に分析結果ファイルを使用しないでください**。分析結果ファイルは、新しいパソコンの状態が少しでも変わってしまうと、新しいパソコンで作成した引越しトラックファイルが使用できなくなるためです。

- 古いパソコンと新しいパソコンが同一(同じパソコンでOSを新しくするなど)のまま引越します。
- 古いパソコンのバックアップとして外付けハードディスクに保存しておき、後で新しいパソコンに引越します。

●分析結果ファイルを使用しない

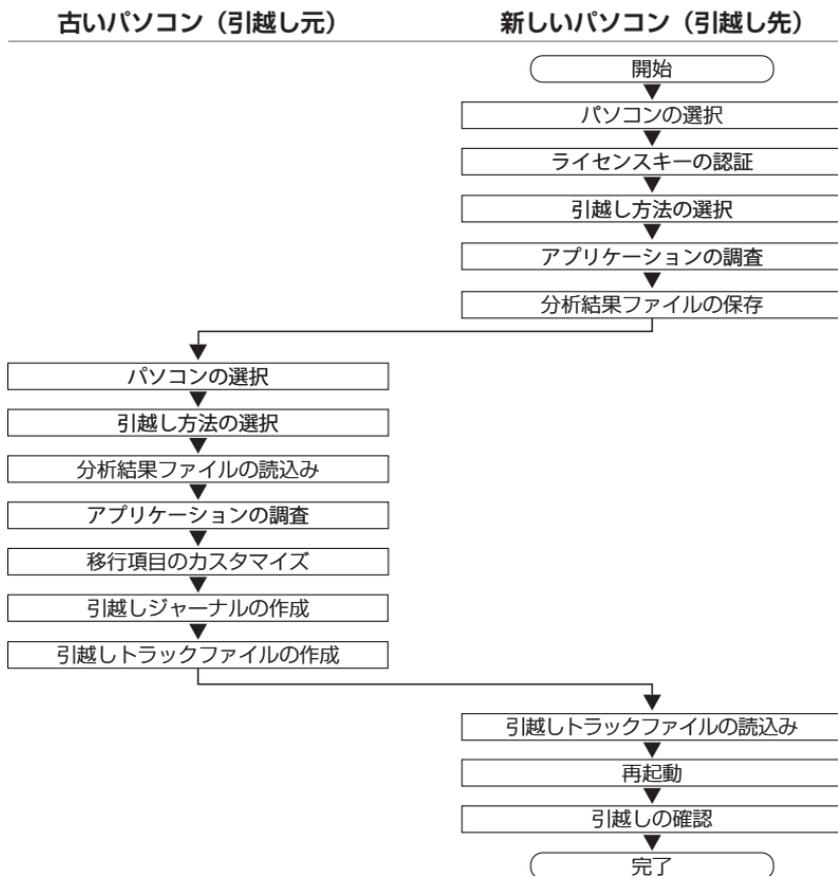
分析結果ファイルを使用しない場合、古いパソコンが新しいパソコンの状況を認識できないため、引越しに時間がかかったり、また古いパソコンと新しいパソコンの間でWindows OSのエディション異なっている(例えば、Professional Edition から Home Edition へ移行) 場合には、ご使用の環境によっては不要なデータの移行が行われて動作が不安定になる可能性があります。しかし、どの新しいパソコンにも荷降ろしできるため、ファイルの安全性が保たれます。本ソフトウェアはファイルの安全性を確保するため、既定では分析結果ファイルを使用しません。



- 古いパソコンを破棄する予定の場合は、バックアップのために分析結果ファイルを使用しないことを強く推奨します。

引越し作業の流れ

引越し作業は、次の流れで行います。



新しいパソコンでの作業(引越シトラック作成前)

外部媒体を利用した引越しは、最初に新しいパソコンでの準備を行います。

- 1 「新しいパソコンでの作業」(30ページ)の1～4と同じ手順で、新しいパソコンのライセンス認証まで進めます。
- 2 [外付けHDDやUSBメモリで引越し]をクリックし、[次へ]をクリックします。



新しいパソコンにインストールされているアプリケーションの調査が開始されます。しばらくお待ちください。



- 3** 分析結果ファイルを使用するかどうかを選択して、「次へ」をクリックします。ファイルの安全性を確保するため、既定では分析結果ファイルを使用しません。



- 古いパソコンと新しいパソコンが同一の場合（同じパソコンでOSを新しくするなど）、または古いパソコンのバックアップを行いたい場合は、絶対に分析結果ファイルを使用しないでください。分析結果ファイルを使用してしまうと、引越したトラックファイルからの荷降ろしができなくなります。

分析結果ファイルを使用する場合は、[分析結果ファイルを使用する]のラジオボタンを選択して、分析結果ファイルの保存先を指定して[次へ]をクリックします。



- 分析結果ファイルは、新しいパソコンと古いパソコンでのユーザーやドライブの対応を紐付けるために、古いパソコンで使用します。古いパソコンでも読み出せるUSBメモリなどの外部メディアに保存してください。

4 分析結果ファイルを使用する場合、分析結果ファイルの保存が開始されます。しばらくお待ちください。



- 分析結果ファイルを保存した外付けHDDやUSBメモリを取り外しておいてください。

この画面が表示されたら、古いパソコンでの作業に移ります。



古いパソコンでの作業

新しいパソコンでの作業が終わったら、古いパソコンでの作業を始めます。

- 1 「古いパソコンでの作業」(27ページ)の 1～3 と同じ手順で、古いパソコンを準備します。
- 2 「外付けHDDやUSBメモリで引越し」をクリックし、「次へ」をクリックします。



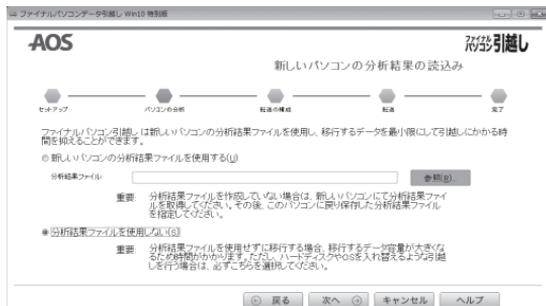
- 3 新しいパソコンで分析結果ファイルを保存した外部媒体を、古いパソコンに挿入します。



- 新しいパソコンで分析結果ファイルを作成しなかった場合は、この手順は不要です。

4 新しいパソコンで分析結果ファイルを作成した場合は、「新しいパソコンの分析結果ファイルを使用する」のラジオボタンをチェックし、[参照] をクリックして新しいパソコンの分析結果ファイルの保存先を指定し、[次へ] をクリックします。

分析結果ファイルを作成していない場合、または分析結果ファイルを使用しない場合は、そのまま[次へ]をクリックします。



新しいパソコンの分析結果ファイルを読み込み後、アプリケーションの検索が開始されます。





5 「新しいパソコンでの作業」(34-36 ページ) の 8 ~ 10 と同じ手順で、古いパソコンの準備を進めます。

6 [参照] をクリックして引越シトラックファイルの保存先フォルダーとファイル名を指定し、[次へ] をクリックします。



- 引越シトラックファイルとは、引越シのデータをまとめたファイルです。多くの場合、引越シ内容にもよりますが、引越シトラックファイルは非常に大きくなります。
- 本ソフトウェアでは、引越シトラックファイルをCD-RやDVD-Rなどの記録型ディスクに直接書き込むことはできません。それらを使用する場合は、いったんハードディスクなどに保存し、エクスプローラなどで記録型ディスクに書き込んでください。

7 分割ファイルの最大サイズを入力し、[次へ]をクリックします。



- 引越ストラックファイルを分割する必要のないときは、そのまま[次へ]をクリックします。
- FAT32でフォーマットされているドライブに引越ストラックファイルを作成する場合、4GB (4096MB) 未満になるように設定してください。なお、分割しないように設定しても、引越ストラックファイルのサイズが4GBを超えた場合、4096MBごとに自動的に分割されます。

引越ストラックファイルの作成が開始されます。この作業は数十分から数時間かかることもあります。



8 引越ストラックファイルの作成が終わったら、[完了]をクリックします。



新しいパソコンでの作業(引越シトラック作成後)

新しいパソコンに、引越シトラックファイルを読み込みます。

- 1 引越シトラックファイルを保存した外付けHDDやUSBメモリを新しいパソコンに挿入します。
- 2 **【参照】**をクリックして引越シトラックファイルを指定し、**【次へ】**をクリックします。

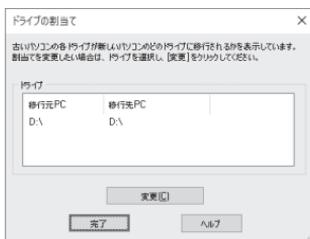


指定した引越シトラックファイルの読み込みが開始されます。この作業は数十分から数時間かかることもあります。





- 分析結果ファイルを使用しなかった場合、引越シトラックの読み込み中にユーザーとドライブの割り当て画面が表示されますので、適切な割り当てを行ってください。



- CD-Rなどに複数の媒体に分割して引越シトラックを保存した場合、1つの分割ファイルの読み込みが完了するとメッセージが表示されます。画面の指示に従って、媒体をセットしてください。

3 引越しデータファイルの転送が完了したら、[完了]をクリックします。



新しいパソコンが再起動されます。

引越しが完了したら、「引越し後の確認」(42ページ)を行ってください。

中断した引越しを再開する

ケーブルやネットワークの切断やパソコンの強制終了などによって引越しが完了しなかった場合、問題の解決後、中断したところから引越しを再開できます。

本ソフトウェアを起動して、次の画面が表示されたら、[前回の転送を再開]を選択して[次へ]をクリックします。



- [新規に転送]を選択すると、直前の中断された引越しを再開せずに、引越しを最初からやり直します。
- [前回の転送を取消]を選択すると、直前の中断された引越しを取り消します。引越しの取り消しについては、58ページをご覧ください。

再開するときに引越しのカスタマイズを行えます。

引越し元のファイルに問題があって意図せずに中断されてしまった場合などには、ここでデータの見直しをすることができます。



ただし、新しいパソコンにすでに移行されているデータは、ここで移行しないように設定を変更しても移行されたままとなります。



- 再開前に、古いパソコンでの準備作業(27ページ)を行ってください。

[次へ]をクリックして、引越しを再開します。

引越しを元に戻す

引越し後、予期しない問題が発生したり、何らかの理由で引越し前の状態に戻したくなったときは、移行前の状態に戻せます。



- すべてのファイルやレジストリが、完全に引越し前の状態に戻ることはありません。Windows やユーザーが使用していたり、ロックしているファイルは取り消されません。また、前回の引越しの設定によって古いパソコンのファイルで上書きされたファイルも同様です。
- 古いパソコンのデスクトップやマイドキュメントなどにあるファイルを新しいパソコンに引越し、そのファイルの内容を変更した後で引越しの取り消しを行った場合、そのファイルは削除されます。たとえば、古いパソコンから引越しした Word ファイルの内容を変更後引越しの取り消しを行った場合、その Word ファイルは削除されます。

移行を元に戻すには、新しいパソコンで本ソフトウェアを実行し次の操作を行ってください。

1 新しいパソコンで本ソフトウェアを起動します。

2 [元にもどす]を選択し、[次へ]をクリックします。



- [元にもどす]は、1 回以上引越しを完了させた後で表示されるようになります。

引越しを元に戻しています。しばらくお待ちください。



- 「元に戻す」作業中は絶対にキャンセルしないでください。正常な状態で元に戻せなくなります。

3 処理が終わったら、[完了]をクリックします。

パソコンが再起動されます。再起動後、引越しを元に戻す処理の完了となります。



セキュリティソフトの回避

セキュリティソフトがインストールされている環境で、ファイナルパソコン引越しの操作や処理に不具合が発生する場合、ご使用のセキュリティソフトについて、監視対象から除外するように設定変更を行ってください。

以下は代表的なセキュリティソフトの、監視対象から除外するように設定する方法です。

Norton Internet Security 2014の場合

ファイナルパソコン引越しを、Norton Internet Securityの例外設定に登録します。

次の操作を行います。

- 1 Windows タスクトレイからNorton Internet SecurityのアイコンをダブルクリックしてNorton Internet Securityのホーム画面を表示させます。

Windows 8の場合はデスクトップを表示させてから行ってください。

- 2 [設定]をクリックします。



3 設定ウィンドウの [コンピューター] タブから、[自動保護、SONAR、ダウンロードインテリジェンスの検出から除外する項目] の設定をクリックします。



4 [追加] をクリックします。



5 フォルダーアイコンをクリックします。



6 「ファイルを開く」ウィンドウで、ファイナルパソコンデータ引越しのプログラム フォルダーの場所を指定します。既定の設定では、次のフォルダーにあります。

32bitOSの場合: C:\Program Files\AOS Technologies

64bitOSの場合: C:\Program Files (x86)\AOS Technologies



7 [OK]をクリックして「項目の追加」ウィンドウを閉じます。**8** 続くウィンドウも[OK]ボタンをクリックして閉じます。**ウイルスバスタークラウドの場合**

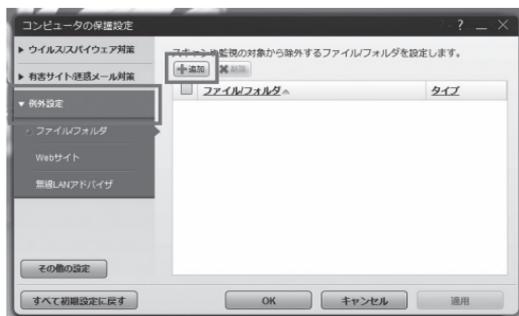
ファイナルパソコン引越しを、ウイルスバスターの例外設定に登録します。
次の操作を行います。

- 1** Windows タスクトレイからウイルスバスターのアイコンをダブルクリックするか、デスクトップに表示されているウイルスバスターのショートカットをダブルクリックして、ウイルスバスターのホーム画面を表示させます。
Windows 8の場合はデスクトップを表示させてから行ってください。

2 設定のアイコンをクリックします。



3 左メニューから【例外設定】をクリックし、右のリスト上部の【追加】をクリックします。



4 [参照]をクリックします。



5 「ファイルを開く」ウィンドウで、ファイナルパソコンデータ引越しのプログラム フォルダの場所を指定します。既定の設定では、次のフォルダにあります。

32bitOSの場合: C:\Program Files\AOS Technologies

64bitOSの場合: C:\Program Files (x86)\AOS Technologies



6 [OK] ボタンをクリックします。



7 再度 [OK] ボタンを押します。



- その他のセキュリティソフトの設定に方法については、FAQ：各種セキュリティソフトの設定方法 (<http://faq.aos.com/pcmove2/2013/12/post-60.html>) をご覧ください。

付 録

うまくいかないときは

「ファイナルパソコンデータ引越し」のよくある質問と回答集(FAQ)は、オンラインで利用できます。最新情報は、次の Web サイトをご覧ください。

「ファイナルパソコン引越し FAQ」 <http://faq.aos.com/pcmover2/>

問 題	原 因	解決方法
パソコンの準備中、レジストリの調査でソフトウェアが停止する。	セキュリティソフトが動作中	セキュリティソフトなどの常駐プログラムはすべて終了してから本ソフトウェアを実行してください。 セキュリティソフトの動作を停止しているにもかかわらず本現象が発生する場合は、お使いのセキュリティソフトで、本ソフトウェアのインストール先にある“PCmover.exe”を、監視の対象外(例外)として登録を行ってください。
ネットワーク経由での転送時に、[古いパソコンの指定]画面に古いパソコンが表示されない。	古いパソコンおよび新しいパソコンの両方が、同じネットワークに接続されていない。	同じネットワークに接続してください。また、ワークグループやドメイン名もそろえてください。
	古いパソコンが接続待ち状態ではない。	古いパソコンで[作業中—ネットワーク転送]が表示されていることを確認してください。
	古いパソコンおよび新しいパソコンのどちらかが、TCP/IP ネットワークプロトコルが使用できない。	TCP/IPが使えるように設定してください。
	ファイアウォールで通信が遮断されている。	一時的にファイアウォールを無効にしてください。
	古いパソコンと新しいパソコンのコンピューター名が同一である。	それぞれのコンピューター名を別になるように変更してください。

問 題	原 因	解決方法
	コンピューター名に半角英数字以外の文字が使われている。	コンピューター名を半角英数字に変更してください。
LANクロスケーブル経由での転送時に、[古いコンピューターの指定]画面に古いコンピューターが表示されない。	間違ったケーブルを接続している。	LANクロスケーブルは通常のストレートケーブルとは異なるものです。正しいケーブルで接続してください。
	古いパソコンが接続待ち状態ではない。	古いパソコンで [作業中—LANクロスケーブル]が表示されていることを確認してください。
	古いパソコンまたは新しいパソコンのどちらかが、UDPネットワークプロトコルが使用できない。	UDPが使えるように設定してください。
	ファイアウォールで通信が遮断されている。	一時的にファイアウォールを無効にしてください。
	古いパソコンと新しいパソコンのコンピューター名が同一である。	それぞれのコンピューター名を別になるように変更してください。
	コンピューター名に半角英数字以外の文字が使われている。	コンピューター名を半角英数字に変更してください。
引越シトラックファイルを転送するときに、新しいパソコンで読み込めない。	分析結果ファイルを作成したパソコン以外で引越シトラックファイルを読み込もうとした。	分析結果ファイルを作成したパソコン以外では読み込めません。 引越シトラックファイルは、分析結果ファイルを作成したパソコンで読み込んでください。 または、引越シトラックファイルを読み込むパソコンで分析結果ファイルを作成してください。
	分析結果ファイルの作成時と異なるユーザー名でログオンした。	分析結果ファイルの作成時と同じユーザー名でログオンしてください。

問 題	原 因	解決方法
古いパソコンと新しいパソコンで、デスクトップ上のアイコンの配列が異なる。	デスクトップ上のアイコンの配列までは正確にコピーできません。	手動で配置しなおしてください。
引越し完了後に新しいパソコンを再起動したら、次のメッセージが表示された。 「システムファイルエラー 最近実行したプログラムによって、次のシステムファイルが古いバージョンに置き換えられました。これらのファイルは現在使われていて、自動的に修復できません。Windows を終了して再起動し、以下のファイルを自動的に修復できるようにするまでは、Windows が正しく動作しない可能性があります。」	Windowsシステムファイルの一部が移行されたことをOSが認識した。	動作に影響はありません。無視してください。
outlook.pstのパスが無効と表示される。	—	[OK]をクリックしていったんOutlookを終了させてから、Outlookを再度起動してください。
内部圧縮エラーが発生する。	セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアが動作している。	これらの常駐ソフトウェアはすべて終了させてください。[キャンセル] をクリックし、引越しをやり直してください。

問 題	原 因	解決方法
USBケーブルを認識できない。 USBケーブルを使用して引越しを行う際に、「USBケーブルを使用できません」というメッセージが表示された。	USBケーブルがパソコンに正しく接続されていない。 または、USB Hubを経由している。	専用USBケーブルは、直接パソコンに接続してください。
	汎用のUSBケーブルを使用している。	本ソフトウェアで使用できるUSBケーブルは、専用のもののみです。汎用品は使用できません。
	USBドライバーがセキュリティソフトにブロックされた。	一旦本ソフトウェアをアンインストールして、セキュリティソフトの動作を停止させた後で再度インストールを行ってください。
「リモートパソコンに接続できません」と表示され、USBケーブルが使用できない。	—	<p>以下をご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 両方のパソコンにUSBケーブルが接続されているか 新しいパソコンで表示された場合は、古いパソコンで「作業中—USB転送」画面になっているか セキュリティソフトがインストールされている場合は、セキュリティソフトの回避（61ページ）に従い、例外設定行ってください。 専用USBケーブルのドライバのインストールに失敗している可能性があります。確認と解決方法は以下をご覧ください。 http://faq.aos.com/pcmover2/2014/05/usb-1.html
リモートパソコンに接続できません」と表示され、LANクロスケーブルが使用できない。	—	<p>以下をご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 両方のパソコンにLANクロスケーブルが接続されているか 新しいパソコンで表示された場合は、古いパソコンで「作業中—LANクロスケーブル転送」画面になっているか セキュリティソフトがインストールされている場合は、セキュリティソフトの回避（61ページ）に従い、例外設定行ってください。 IPアドレスを固定するように設定している場合、IPアドレスの固定を解除してください

問 題	原 因	解決方法
移行するユーザーの選択画面で、画面に表示されているユーザー名と実際のユーザー名が一致しない。	過去にWindowsコントロールパネルでWindowsユーザー名を変更した。	本ソフトウェアは、移行するユーザーの選択画面に各ユーザーのフォルダー名を表示します。通常、ユーザー名とユーザーのフォルダー名は一致しています。しかし、Windowsコントロールパネルでユーザー名を変更すると、ユーザー名は変更されますがフォルダー名は変更されません。また、Windowsを強制終了したり、ハードウェアの問題でユーザーのフォルダーにアクセスできなくなった場合、Windowsはユーザーのフォルダーを別名で複製します。このケースでも、ユーザー名とユーザーのフォルダー名が一致しくなりません。
「現在ログインしているユーザーは制限ユーザーです。」というメッセージが表示される。	本ソフトウェアが制限ユーザーで実行されています。	本ソフトウェアでデータの引越しを行う場合は、管理者権限が必要です。管理者ユーザーでログインし直してください。
移行後、エクスプローラの左ペインの「お気に入り」の下に英語のフォルダーができています。	「お気に入り」の下には、ユーザーの「リンク」フォルダーの内容が表示されます。Windows Vistaから移行した場合、ユーザーの「リンク」フォルダーが移行されるためこのような現象が発生した。	C:\Users(ユーザー)\(ユーザー名)\リンク\フォルダーから、英語になっているファイルを削除してください。
本ソフトウェアが起動しない	Office IMEが既定のIMEになっている	Microsoft KB (https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/932104) をご参考に、IMEを「Microsoft IME」に変更してください。

メールデータの移行について

本ソフトウェアでは、Microsoft Outlookのメールデータを移行できます。メールデータとは、メールのメールメッセージ、メールアカウント、メッセージルール、およびアドレス帳を指しています。

Outlook Express、Windows メール、Windows Live メールの移行について古いパソコンのOutlook Express (Windows XP) やWindowsメール (Windows Vista) のメールデータを、新しいパソコンのWindows Live メールに移行することができますが、Windows Live メールは2017年1月10日を以ってサポートを終了しておりますため、本ソフトウェアでもサポート外となります。また、メールデータの仕組みが異なるため、Windows ストアアプリの「メール」アプリにOutlook ExpressやWindows Live メールのメールデータを移行することはできません。

しかし、メールデータを含むファイルは、古いパソコンから新しいパソコンにコピーされます。多くの場合、OutlookやMozilla Thunderbirdのような別のメールクライアントでそれらのデータをインポートすることが可能です。それぞれのメールクライアントのヘルプなどからインポート方法をご覧ください。

- Outlook ExpressからOutlookへ移行する場合は、ファイナルパソコン引越しFAQ(<http://faq.aos.com/pcmover2/2011/11/outlookexpressoutlook.html>)をご覧ください。
- Outlookを起動したときに「既定のメールフォルダーを開けません。」というエラーが表示された場合、Outlookを一度閉じたあとでもう一度起動しなおしてください。
- 外部媒体で分析結果ファイルを使用しない場合、Outlook プロファイルがリダイレクトされないため、Outlook 2010以前からOutlook 2013へメールを移行できないことがあります。

USBドライバのインストール

専用USBケーブル経由で引越しを行う場合は、USBドライバのインストールが必要です。



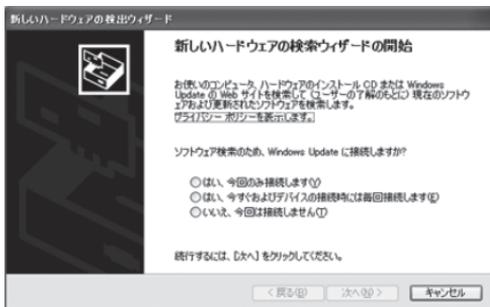
- 専用USBケーブルは、本ソフトウェアのインストールが終了するまでは接続しないでください。

Windows XPの場合

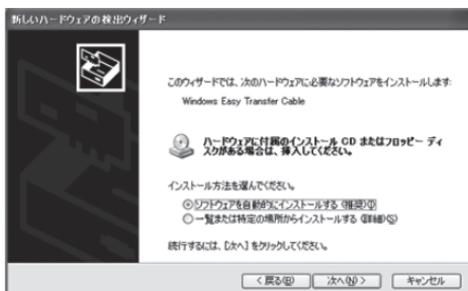
1 専用USBケーブルを接続します。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

2 [いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

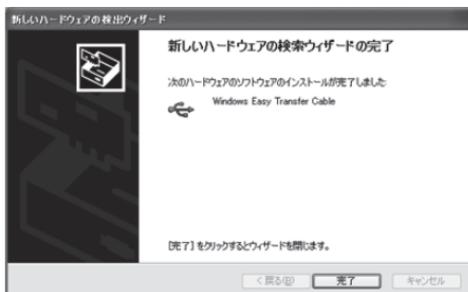


3 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。



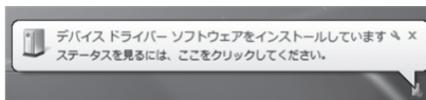
デバイス名には、「Windows Easy Transfer Cable」または「Laplink USB2.0(Silver) Profile Cable」と表示されます。

4 [完了]をクリックします。



Windows Vista/7の場合

1 専用USBケーブルを接続します。



自動的に、デバイスドライバのインストールが開始されます。
完了までお待ちください。

Windows 8および10の場合

特別な作業は不要です。USBケーブルを接続すると、すぐに使用可能となります。

技術サポート情報

▶ユーザー登録

ユーザー登録は、技術サポートを受けたり、製品の最新版情報を受け取るなどの為に必要です。

1. 電子メール／チャット／電話による技術サポート
2. ダウンロードによるアップデートの提供
3. ライセンスキー（ライセンスキー）トラッキング（ライセンスキーがわからなくなった場合、登録していただいたライセンスキーの記録を調査してお知らせします）
4. 電子メールによる優待販売などの告知

▶登録方法

https://www.finaldata.jp/support/new_registration.html
からオンライン登録を行ってください。

▶よくある質問と回答集

「ファイナルパソコン引越し」のよくある質問と回答集（FAQ）は、オンラインで利用することができます。「ファイナルパソコン引越し」に関する最新情報は、次のWeb サイトをご覧ください。

<http://faq.aos.com/pcmover2/>

▶技術サポート

ご購入いただきましたソフトウェアの操作上のお問合せや、技術的なご質問につきましては、AOSデータ技術サポートまでお問合せください。専門スタッフが問題解決のお手伝いをさせていただきます。なお、サポートをお受けになる場合は、下

記事項を確認の上、ご連絡ください。

1. 電源が正しく接続されており、ハードディスクおよび接続コネクタ類が正しく接続されているでしょうか？
2. お客様のご使用になっているパソコンは、「必要なシステム」(13ページ)を満たしているでしょうか？
3. パソコンのOS、ドライブ構成、容量、その他周辺機器はどのようになっているでしょうか？
4. 障害発生後、どのような操作を行ったでしょうか？
5. 本ソフトウェアを実行して、タスクバーの「ファイナルパソコン引越し」を右クリックしてバージョン情報をクリックすると表示される詳細なバージョン番号はいくつでしょうか？(例:v10.00[640])

使用許諾契約書

本ソフトウェアの使用には、下記の「ライセンス使用許諾契約書」への同意が必要です。

「ファイナルパソコンデータ引越し Win10 特別版」のご使用前に必ずお読みください。

下記の使用許諾契約は、お客様（個人または法人を問いません）とAOSデータ株式会社（以下、AOSデータ）との間に締結される法的な契約書です。AOSデータは、お客様が本使用許諾契約の内容に同意される場合に限り、本使用許諾契約の対象となるソフトウェアを使用することを許諾します。ソフトウェアをインストール、複製、使用することまたはCD-ROM の入った包装を開封することによって（ダウンロードによる購入の場合は、製品の購入手続きにおいて、本契約書に「同意する」を押下（クリック）された時点で、お客様は本使用許諾契約の条項に同意し、使用許諾契約が成立したものとみなします。その前に本使用許諾契約をよくお読みください。お客様が本使用許諾契約の内容に同意されない場合、AOSデータは、本使用許諾契約の対象となるソフトウェアを使用することを許可いたしません。その場合には、お買い上げ後60日以内に、ご購入を証明するものを添えて、お買い上げ店に購入商品をすべてお戻しください。引き換えに、ご購入代金を払い戻しいたします。（ダウンロードによる購入の場合には、本契約書に「同意しない」を押下（クリック）してください。購入手続きはキャンセルされ、製品を購入・ダウンロードすることはできません。また、ダウンロード販売という性質上、同意のうえご購入された製品の返品・返却は一切できませんのでご注意ください。）

使用許諾契約書

第1条 使用権の許諾

AOSデータは、本契約記載の条件に従い、「ファイナル/パソコンデータ引越し Win10 特別版」（以下、本ソフトウェア）に関し、お客様が自己所有するコンピューター（お客様が自己使用するリース物件またはレンタル物件を含む）における以下の非独占的、再許諾不可能かつ譲渡不可能な権利をお客様に対して許諾します。

1. お客様が自己所有するコンピューターのうち、転送元として使用する1台のコンピューターを特定して、本ソフトウェアをインストール、ロード、実行および表示を行うこと。ただし、一度特定したコンピューターを変更することはできません。
2. お客様が自己所有するコンピューターのうち、転送先として使用するコンピューターに、本ソフトウェアをインストール、ロード、実行および表示を行うこと。
3. お客様が本ソフトウェアを利用して転送元のコンピューターから転送先のコンピューターへ移行を実施すること。
4. 本ソフトウェアの媒体破損時に備え、バックアップ用に供給媒体1つにつき複製を1つ作成すること。ただし、本ソフトウェアの媒体破損時を除き、バックアップ用の複製がいかなるコンピューター上にもインストールあるいは使用されないことを条件とします。

第2条 著作権等

1. 本ソフトウェアおよびマニュアルに関する著作権、特許、商標権、ノウハウおよびその他のすべての知的所有権はAOSデータおよび本ソフトウェアの使用許諾権者へ独

占的に帰属します。

2. お客様は、AOSデータの事前の承諾を得ることなく、本ソフトウェア、マニュアルおよび本ソフトウェアのプロダクトキー（以下、「プロダクトキー」）を第三者へ賃貸、貸与、販売または譲渡できないものとし、かつ、本ソフトウェア、マニュアルおよびプロダクトキーに担保権を設定することはできないものとし、加えて、お客様は、AOSデータの書面による事前の承諾を得ることなく、お客様の顧客サービス（有償・無償を問わず営利目的または付加価値サービスとして第三者へ提供されるサービス）の一環として本ソフトウェアおよびプロダクトキーを使用することはできないものとし、
3. お客様は、本ソフトウェアにつき、リソースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできないものとし、お客様が改造に起因して本ソフトウェアに何らかの障害が生じた場合、AOSデータは当該損害に関して一切の責任を負わないものとし、
4. お客様は、AOSデータの文書による同意なしに、本ソフトウェアを複製すること（メディアからハードディスクへの複製、本ソフトウェアを含むアーカイブの作成、ネットワークへの送信などを含む）はできません。ただし第1条の2項の場合を除きます。

第3条 保証および責任の限定

1. AOSデータは、本契約の締結日から60日に限り、本ソフトウェアのメディアに物理的な欠陥があった場合、当該メディアを無料交換いたします。交換後のメディアに対しては、交換前のメディアに適用されるべき保証期間が適用されるものとし、この場合には、本ソフトウェアに領収書を添えて本ソフトウェアをお買い上げになった販売店にてお戻しください。なお、ダウンロードによる購入の場合には媒体がございませんので、媒体の代品の提供はありません。
2. AOSデータは、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア、マニュアルまたは第4条に定義されるサポートサービスに関して一切の保証を行いません。また、AOSデータは、本ソフトウェアもしくはマニュアルの機能またはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアまたはマニュアルの物理的な紛失、盗難、事故および誤用等に起因するお客様の損害につき一切の補償をいたしません。
3. AOSデータは、第4条1項および2項に記載されるユーザ登録もしくはユーザ登録変更の届出がなされない場合またはその内容に不備がある場合、同社からお客様への通知、郵送およびその他のコタクトの不達により生じる不利益および損害については、お客様の責任とさせていただきます。
4. お客様が期待する成果を得るためのソフトウェアプログラム（本ソフトウェアを含むがこれに限られない）の選択、導入、使用および使用結果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。本ソフトウェアもしくはマニュアルの使用、サポートサービスならびに第4条3項およ

び4項によりサポートサービスの提供を受けられないことに起因してお客様またはその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害および逸失利益に関してAOSデータは一切の責任を負いません。

5. 本契約のもとで、理由の如何を問わずAOSデータがお客様またはその他の第三者に対して負担する責任の総額は、本契約のもとでお客様が実際に支払われた対価の100%を上限とします。

第4条 サポートサービス

1. AOSデータは、同社が定める手続に従ってユーザ登録を行ったお客様に対し、当該ユーザ登録の日から1年を経過する日までを有効期間として、メール、チャットまたは電話によるサポートサービスを提供いたします。ただし、インターネット接続環境またはメールアドレスをお持ちでないお客様においては、サポートサービスのうち一部が有料となります。
2. お客様は、前項記載のユーザ登録の内容に変更が生じた際には、AOSデータに対し遅滞なく届出を行うものとします。
3. サポートサービスの提供に関するAOSデータの義務は、本条1項記載の内容に関する合理的な努力を行うことに限られるものとします。また、AOSデータは、以下のいずれかに該当するお客様に対してサポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
 - (a) AOSデータが定める手続に従ったユーザ登録を行っていないお客様
 - (b) 前項所定の変更の届出を行っていないお客様または当該変更の届出に不備があるお客様
 - (c) サポートサービスの有効期間にないお客様
 - (d) 本ソフトウェアを、日本語以外の言語に対応するオペレーティングシステムとともに使用しているお客様
 - (e) 本ソフトウェアに関する内容でない質問のあるお客様
4. AOSデータは、以下の場合、お客様へ事前の通知を行うことなくサポートサービスの提供を停止できるものとします。
 - (a) システムの緊急保守を行うとき
 - (b) 火災、停電等の不可抗力および第三者による妨害等により、システムの運用が困難になったとき
 - (c) 天災またはこれに類する事由により、システムの運用ができなくなったとき
 - (d) 上記以外の緊急事態により、AOSデータがシステムを停止する必要があると判断するとき
5. お客様は、サポートサービスの有効期間が終了する日までにAOSデータが定める手続に従いサポートサービス契約を更新することによって、引き続きサポートサービスの提供を受けることができます。なお、サポートサービス契約の更新には別途費用が必要となります。
6. 前各項にかかわらず、AOSデータは、本ソフトウェアの販売終了から2年を経過した時に本ソフトウェアの全てのサポートを終了します。同社がサポートを終了した本ソフトウェアについては、お客様に対するサポートサービスを提供する義務を負わないものとします。

第5条 契約の解除

1. お客様が本契約に違反した場合、AOSデータは本契約を解除することができます。この場合、お客様は、本ソフトウェア、マニュアルおよびプロダクトキーを一切使用することができません。
2. お客様は、本ソフトウェア、マニュアル、プロダクトキーおよびそのすべての複製物を破壊することにより本契約を

終了させることができます。この場合、本契約のもとでお客様が支払われた一切の対価は返還いたしません。

3. 本契約が終了するかまたは解除された場合、お客様は、本ソフトウェア、マニュアル、プロダクトキーおよびそのすべての複製物をAOSデータへ返却するかまたは破壊するものとします。

第6条 守秘義務

1. お客様は、(a)本契約記載の内容、および、(b)本契約に関連して知り得た情報(本ソフトウェアのプロダクトキー、サポートサービスに関する電話番号、ファックス番号、メールアドレス、URL、ID、パスワードならびにサポートサービスの一環としてコンピューターネットワークを介して提供される情報内容を含む)につき、AOSデータの書面による承諾を得ることなく第三者に開示、漏洩しないものとし、かつ、本契約における義務の履行または権利の行使に必要な場合を除き方法を問わず利用しないものとします。ただし、国家機関の命令による開示等正当なる事由に基づき開示する場合はこの限りではありませんが、この場合にはAOSデータに対して速やかに事前の通知を行うものとします。
2. 前項にかかわらず、下記各号に定める事項については前項の適用を受けないものとします。
 - (1) 開示を受けた時に既に公知である情報
 - (2) 開示を受けた後、自己の責によらず公知となった情報
 - (3) 開示を受ける前から、自己が適法に保有している情報
 - (4) 第三者から、守秘義務を負わず適法に入手した情報
 - (5) AOSデータの機密情報を使用または参照することなく独自に開発した情報
3. 前各項の規定は、本契約が解除、期間満了またはその他の事由によって終了したときであってもなおその効力を有するものとします。

第7条 一般条項

1. お客様は、AOSデータの事前の承諾を得ることなく、本ソフトウェアを日本国外へ持ち出すことはできないものとします。理由の如何を問わず、AOSデータからお客様へ通知、郵送およびその他のコンタクトを行う場合(サポートサービス提供の場合を含むが、これに限られない)、当該通知、郵送およびコンタクト等の宛先は日本国内に限定されるものとします。
2. 本契約は、本ソフトウェアの使用許諾に関し、特段の特約がない限り本契約の締結前にお客様とAOSデータとの間になされたすべての取り決めにより優先して適用されます。なお、AOSデータは、お客様へ事前の通知を行うことなく本契約の内容、サポートサービスの内容およびその他の告知内容を変更できるものとし、当該変更がなされた場合、従前の本契約の内容、サポートサービスの内容および告知内容は無効となり、最新の本契約の内容、サポートサービスの内容および告知内容が適用されるものとします。
3. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。本契約に起因する紛争の解決については、東京地方裁判所が第一審としての専属的管轄権を有するものとします。
4. 本ソフトウェアによるアプリケーション移行における各アプリケーションのライセンスの扱いについては、各アプリケーションのライセンス規定に従うものとします。

AOSデータ株式会社

東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル4F

AOS

AOSデータ株式会社

<http://aosdata.co.jp/>

Eメール：hikkoshi@aos.com